

2020年7月16日
日興アセットマネジメント株式会社



ジパング企業債ファンド

【1周年記念レポート】

～改めてお伝えしたい、ファンドの魅力～

「ジパング企業」(日本企業や日本企業の海外子会社)が発行する様々な債券に投資する当ファンドは、おかげ様で2019年7月の運用開始から1年が経過しました。本資料では、ファンドの運用状況や魅力についてお伝えします。



【当ファンドの魅力】

- ① : 株式やリートなどに比べ、**相対的に振れの小さな値動き**
- ② : 日本国債などに比べ、**相対的に高い利回り水準**
- ③ : 主な投資対象は、**ジパング企業が発行する債券**

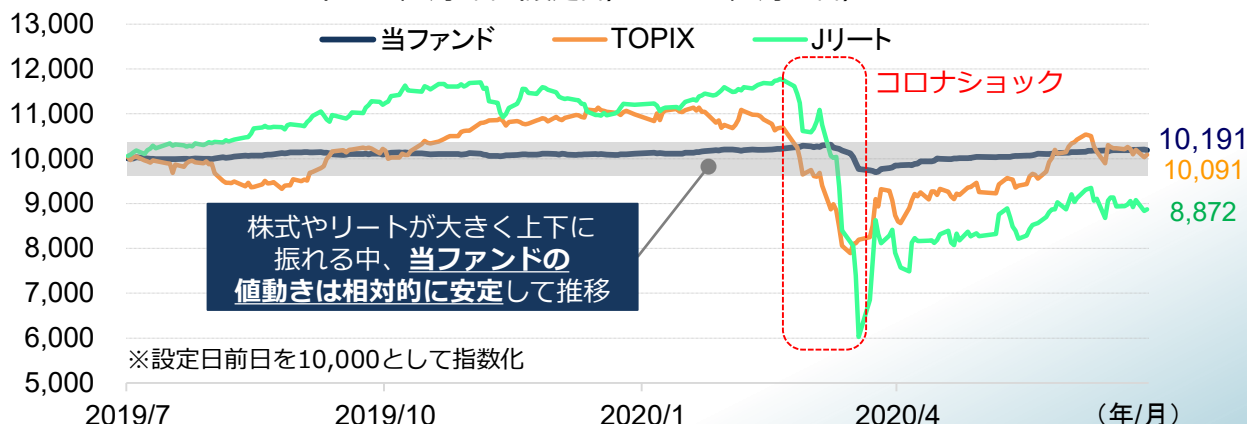
当ファンドの魅力①

～株式やリートなどに比べ、相対的に振れの小さな値動き～

- 当ファンド設定来の騰落率(2020年6月末時点)は、+1.91%となっています。
- 2020年2月以降、新型コロナウイルス感染拡大によってマーケットは大きく動揺し、当ファンドの基準価額も一時的に下落したものの、その後は回復し、堅調に推移しています。

設定来の基準価額推移

(2019年7月2日(設定日)～2020年6月30日)



※当ファンドの基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。

※TOPIX: TOPIX(配当込み)、Jリート: 東証REIT指数(配当込み)

※上記指数はいずれも当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「ジパング企業債ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

当ファンドの魅力②

～日本国債などに比べ、相対的に高い利回り水準～

- 足元では先進国を中心に低金利環境が続いており、日本の国債利回りなども低水準となっています。当ファンドでは、独自のクレジット分析に基づき、より魅力的な銘柄をポートフォリオに組み入れることでファンドの利回りを高め、基準価額の安定と向上を図っています。
- 当ファンドの足元の最終利回りは、10年国債利回りなどと比べて高い水準となっており、安定的なインカム収益の獲得が期待されます。

利回り水準の比較（2020年6月末時点）



※社債：NOMURA-BPI/Extended事業債指数。各数値は当ファンドのベンチマークではありません。

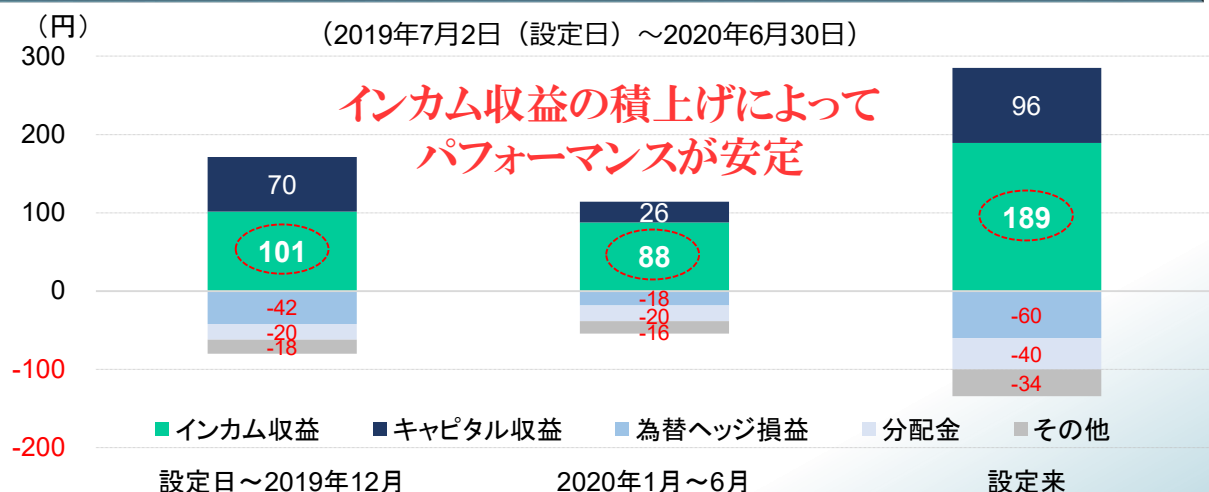
※当ファンドのポートフォリオの最終利回りは、債券を満期まで保有した場合の、為替ヘッジコスト控除後の利回りです。ただし、早期償還条項付の債券については、債券を次回早期償還日まで保有した場合の値です。本利回りは、3か月フォワードレートをを用いて計算した為替ヘッジコストを月末の通貨別構成比で按分したものを控除した概算値であり、実際の水準とは異なります。なお、信託報酬、手数料および税金などを考慮していません。また、実質的な投資成果を示すものでも、将来得られる期待利回りを示すものでもありません。

※各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

- 当ファンドの基準価額変動要因を見てみると、着実なインカム収益の積上げがパフォーマンスの安定に寄与していることがわかります。

基準価額変動の要因分解



※基準価額の要因分解は概算値であり、傾向を知るために算出した参考値であることにご留意ください。

※要因分解データは、計算誤差などにより合計が実際の基準価額変動額と一致しないことがあります。

※基準価額は信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の、分配金額は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当ファンドの魅力③

～主な投資対象は、ジパング企業が発行する債券～

- 当ファンドは、「ジパング企業」が発行する債券を主な投資対象としており、円建て債券だけではなく、利回り向上などの観点から外貨建て債券にも投資を行ないます。なお、外貨建て債券への投資にあたっては、原則として対円で為替ヘッジを行ないます。
- また、ジパング企業のなかでも、取得時にBBB－相当以上の格付を有する発行体（母体企業の格付を含みます。）が発行する債券に着目しており、企業の財務健全性などに配慮した運用を行なっています。

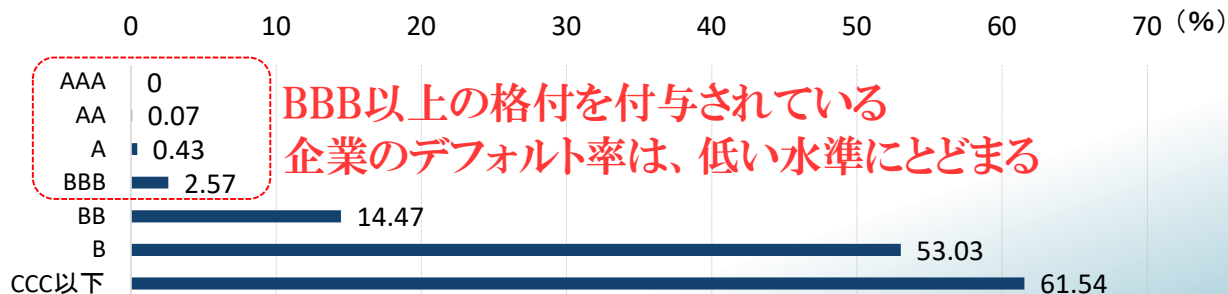
【ご参考】マザーファンドの格付別構成比（発行体格付：2020年6月末時点）

種別	AAA	AA	A	BBB	その他
ウェイト	7.2%	56.4%	34.7%	0.0%	1.7%

※格付は、主要格付機関の格付のなかから最も高い格付を採用しています。

※発行体格付は、親会社の格付を表記している場合があります。

（ご参考）企業の格付水準別 デフォルト率（2010-2019年：5年累積）



（出所）JCR（日本格付研究所）のデータをもとに日興アセットマネジメント作成

ファンドを取り巻く環境について

米国金利の低下に伴ない、為替ヘッジコストが縮小

- 米国の金利低下に伴ない、足元で米ドル（対円）の為替ヘッジコストが縮小しています。為替ヘッジコスト縮小は、ファンドの為替ヘッジコスト控除後の利回り向上に繋がると考えられます。

（ご参考）米ドル（対円）の為替ヘッジコスト水準*

-0.24%（2020年6月末時点） < -2.51%（2019年6月末時点）

- コロナショック前後のポートフォリオ運営については、大きく売られた外貨建て債券に妙味があると判断し、投資ウェイトを増加させました。市場心理の回復や米国の金融緩和政策により、外貨建て債券の価格が上昇したことで、ファンドパフォーマンスにプラス寄与しています。

*米ドル（対円）の為替ヘッジコストは、円の短期金利から米ドルの短期金利を差し引いて算出した理論値です。

日銀による大規模な金融緩和策の実施

- 日銀は足元で強力な金融緩和策を実施しています。
- 国債だけでなく社債についても大規模な買い入れを行なっており、流動性の高まりが期待されます。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「ジパング企業債ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ポートフォリオの概要①

(2020年6月30日時点)

※マザーファンドの状況であり、対純資産総額比です。

＜ポートフォリオの特性値＞

平均残存期間	7.1年
平均デュレーション	6.6年
平均直接利回り	1.87%
平均最終利回り (為替ヘッジコスト控除前)	1.57%
平均最終利回り (為替ヘッジコスト控除後)	1.49%

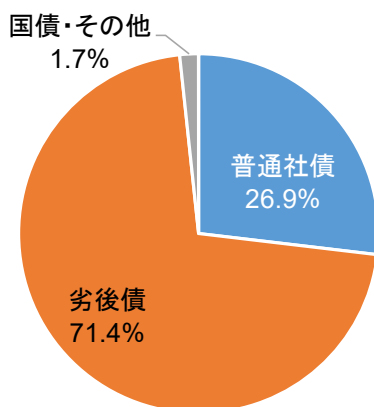
※ポートフォリオ特性値は、債券を次回早期償還日まで保有した場合の値です。

※各利回りは、信託報酬、手数料および税金などを考慮しておりません。また実質的な投資成果を示すものでも、将来得られる期待利回りを示すものではありません。

※直接利回りは、債券の時価価格に対する1年間に受け取る利息の割合を表したものです。為替ヘッジコストを考慮していません。

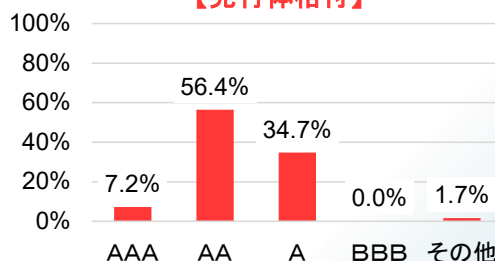
※最終利回りは、債券を満期まで保有した場合の利回りです。
※平均最終利回り(為替ヘッジコスト控除後)は、3ヵ月フォワードレートをを用いて計算した為替ヘッジコストを月末の通貨別構成比で按分したものを控除した概算値であり、実際の水準とは異なります。

＜公社債種別構成比＞

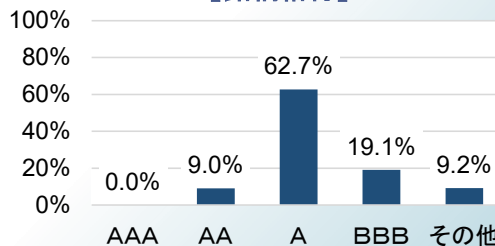


＜格付別構成比＞

【発行体格付】



【銘柄格付】



＜通貨別構成比＞

円建て	61.6%
米ドル建て	22.7%
ユーロ建て	14.1%

※外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行ないます。

※格付は、主要格付機関の格付のなかから最も高い格付を採用しています。

※銘柄格付は、一部発行体格付を表記している場合があります。

※発行体格付は、親会社の格付を表記している場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ポートフォリオの概要②

※マザーファンドの状況であり、対純資産総額比です。

＜組入上位10銘柄＞
(2020年6月30日現在) (組入銘柄数:37銘柄)

	銘柄	クーポン (%)	発行通貨	償還日	次回早期 償還日	発行体 格付	銘柄 格付	比率
1	第2回ヒューリック利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	1.280	日本円	2055/7/2	2025/7/2	A+	A-	7.3%
2	第1回東京海上日動火災保険株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	0.960	日本円	2079/12/24	2029/12/24	AAA	AA-	7.2%
3	FUKOKU MUTUAL LIFE INSURANCE	5.000	アメリカドル	(永久債)	2025/7/28	AA-	BBB+	6.0%
4	SOFTBANK GROUP CORP	4.000	ユーロ	2023/4/20	2023/1/20	A-	BB-	4.0%
5	MIZUHO FINANCIAL GROUP INC	4.353	アメリカドル	2025/10/20	-	AA-	BBB+	3.9%
6	第1回武田薬品工業株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	1.720	日本円	2079/6/6	2024/10/4	A+	A-	3.8%
7	SUMITOMO MITSUI FINANCE & LE	2.512	アメリカドル	2025/1/22	2024/12/23	AA	A-	3.7%
8	第1回第一生命ホールディングス利払繰延条項・任意償還条項付無担保永久社債(劣後特約付)	1.220	日本円	(永久債)	2029/3/19	A+	A-	3.7%
9	第1回日本生命第2回劣後ローン流動化株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約及び責任財産限定特約付)	1.030	日本円	2048/9/18	2028/9/15	AA+	A+	3.6%
10	株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ第11回任意償還条項付無担保永久社債(債務免除特約および劣後特約付)	1.000	日本円	(永久債)	2030/1/15	AA-	A-	3.6%

※マザーファンドの状況であり、対純資産総額比です。
※格付は、主要格付機関の格付のなかから最も高い格付を採用しています。
※銘柄格付は、一部発行体格付を表記している場合があります。
※発行体格付は、親会社の格付を表記している場合があります。
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

当ファンドは、日本の新発10年国債利回りの水準に応じて信託報酬率に変化するファンドです。
2020年6月末現在の信託報酬率は年率0.253%（税抜0.23%）です。詳細は後述をご参照ください。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ファンドの特色

1

主として、「ジパング企業」(日本企業や日本企業の海外子会社)などが発行する様々な債券に投資し、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざします。

2

利回り向上などの観点から、円建ての債券に加え、外貨建ての債券にも投資します*。

* 外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。

3

年2回、決算を行いません。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込み に 際 して の 留 意 事 項

■ リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券(普通社債および劣後債)を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【劣後債への投資に伴うリスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「ジパング企業債ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お 申 込 み メ モ

商品分類	追加型投信／内外／債券
購入単位	100万円以上1円単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2029年5月15日まで(2019年7月2日設定)
決算日	毎年5月15日、11月15日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手 数 料 等 の 概 要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	三井住友信託銀行における購入時手数料率は、以下の通りです。 購入時の基準価額に対し0.55%(税抜0.50%) ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率0.803%(税抜0.73%)以内 各計算期に適用する運用管理費用(年率)は、前計算期終了日におけるわが国の新発10年国債の利回りに応じて変動します。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
その他の費用・ 手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。
※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■当資料は、投資者の皆様へ「ジパング企業債ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

当ファンドは、

日本の新発10年国債利回りの水準に応じて**信託報酬率**が変化します

日本の新発10年国債利回りの水準	当ファンドの信託報酬率(年率)
4%以上	0.73%
3%以上4%未満	0.63%
2%以上3%未満	0.53%
1%以上2%未満	0.43%
0.5%以上1%未満	0.33%
0.5%未満	0.23%

※表中の率は税抜です。別途消費税がかかります。

足元では最も低い信託報酬率

＜日本の新発10年国債利回りの推移＞
2016年1月初～2020年6月末



信頼できると判断したデータをもとに
日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

【投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは】

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○

(資料作成日現在)